

令和7年度交通安全ファミリー作文コンクール

最優秀作品

小学生の部 最優秀作 〈内閣総理大臣賞〉

頭のイナズマ

愛媛県愛媛大学教育学部附属小学校
2年 若狭 早

ズキン、バリバリッ。頭のいたみに、ぼくはびっくりしました。いつもは元気いっぱいなのに、今は何もした
いと思えませんでした。ぼくは交通じこにあい、頭のほねがおれ、頭の中で出血してしまったのです。

きょ年の十二月、お絵かき教室からの帰り道。ぼくが自てん車で交差点をわたっていると……帰りをいそ
いでいる車にドン、とはねられました。ぼくは一メートルくらいとばされて、地めんにたたきつけられたので
す。自てん車は車にまきこまれ、ガリガリけずられました。夕方五時すぎ、空はどんどん夜にむけてくらくらなる
時間のことでした。

ぼくはヘルメットをかぶっていました。白と黒のかっこいいデザインで、これをかぶっているとよくほめら
れました。

「いいなあ、そのヘルメット。」

「レーサーみたいだね。」

ぼくのお母さんも、ぼうしと一体になったヘルメットをかぶっています。自てん車にのる時は、かならずヘル
メット。それをずっとつづけていたから、車にはねられ頭をうって「線じゃこっせつ」ですんだそうです。
頭のしゃしんには、ビリビリとイナズマのような線が入っていました。おいしゃさんから、

「ヘルメットがなければ、かんぼつこっせつ、のうざしょうなどになっていたかも知れないよ。それは今より
ひどいじゃうたいで、いのちにかかわるからね。」

とせつめいされて、ぼくはヘルメットの大切さがよく分かりました。

ぼくがいるえひめけんは、自てん車にのる人のヘルメット着用リつが日本一です。けいさつの人がしらべ
たところ、えひめけんでは七わりの人が着用していたそうです。車と自てん車の交通じこで、大切ないのち
がいくつもうしなわれたので、

「ヘルメットをかぶるのは、当たり前。」

このいしきが生まれたそうです。それなのに、着用リつが一わりを切る場しょもまだあります。だからぼくは、
ヘルメットでいのちがたすかったことを、これからたくさんの人につたえたいと思います。

交通じこにあった時、ぼくは自てん車のライトをつけ、はんしゃざいの
ついたふくを着ていました。右・左・右のかくにんもしていました。どん
なに用心していても「まさか」はおこります。だからみなさん、ヘルメットを
かぶりましょう。あんぜんとあん心の目じるし、SGマークなどがポイント
です。かっこいいデザイン、かわいいデザインのものもあります。いのちを
まもるおまもりとして、ヘルメットをかぶりましょう。

今年の六月、ぼくはやっと頭のほねがくつつきました。ぼくの頭のイナ
ズマは、これから二、三年かけてうすくなっていくそうです。ヘルメットが
あって、本当によかったです。



家族でつなぐ交通安全の輪

福島県いわき市立小名浜第二中学校
3年 鈴木 彩花

ある日の夕方、私は自転車で家に帰る途中、信号が青に変わったので横断歩道に進もうとしました。その
とき、右から来た車が急にスピードを上げて曲がってきました。ブレーキを強くかけ、なんとか止まりました
が、もし一歩でも進んでいたらと思うと、背中が「ゾッ」としました。たった数秒の判断で、命が守れるかどう
かが決まることを、身をもって感じた瞬間でした。

その数日後、学校で交通安全教室が行われました。映像では、反射材をつけた人とつけていない人の見
え方の違いが映し出され、夜道では本当に姿が見えにくいことがわかりました。また、事故に遭った人の体
験談を聞き、「自分は大丈夫」と思う油断が一番危険だと知りました。授業が終わる頃には、この学びを家族
にも伝えたいという気持ちでいっぱいになっていました。

家に帰ってから、夕食の席でその日の授業のことを話しました。私の話を聞いた父は、「確かに車を運転
していると、夜は歩行者が見えづらい」と言いました。母は「スマホを見ながら歩いたり、自転車に乗ったりす
る人も多いね」と心配そうに話しました。姉も「横断歩道では、車が完全に止まってから渡った方がいいよ」
とアドバイスをくれました。家族みんなで意見を出し合い、私たちの交通安全ルールをつくることになりま
した。

まず、道路を渡るときは左右を二回ずつ見る。そして、信号が青でも、車が止まったのを確認してから
渡る。自転車では必ずヘルメットをかぶり、夜はライトを早めにつける。さらに、夜道では暗い服で
はなく明るい色の服や反射材を身につける。ルールはシンプルですが、どれも事故を防ぐために大切な
ことばかりです。

話し合い後、私たちはすぐに行動を始めました。父は自転車のライトをLEDに交換し、母は買い物バッグ
に反射材をつけました。姉たちは通勤用のバッグに光るキーホルダーをつけ、夜でも目立つようにしまし
た。私は塾の帰り道に黄色い反射ベストを着るようになりました。最初は少し恥ずかしかったけれど、車の
ライトが当たるとしっかり反射しているのを見ると「これで自分
の命を守れる」と思えるようになりました。

交通安全は、一人ひとりの意識と行動の積み重ねです。家族で
話し合いをしたことで、私は「守られている」だけでなく「自分で
守る」大切さを知りました。事故は予告なく訪れます。だからこそ、
日ごろから安全を意識し、行動に移すことが必要です。

これからも家族とともに交通安全を心がけ、学校や友達にも
学んだことを伝えていきたいです。そして、地域全体が安心して暮
らせるよう、小さな輪を広げていくことが私の目標です。

